

平成 26 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社エス・サイエンス
代表者名 代表取締役会長 品田 守敏
(コード番号 5721 東証第 1 部)
問合せ先 常 務 取 締 役 甲佐 邦彦
(TEL 03 - 3573 - 3721)

特別損益および営業外収益の計上ならびに平成 26 年 3 月期
通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は平成 26 年 3 月期第 4 四半期において、下記の通り特別損失等を計上いたしました。

また、平成 25 年 9 月 24 日付「平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間ならびに通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示いたしました平成 26 年 3 月期の業績予想における予想値と差異が生じたのでお知らせいたします。

1. 特別損失の計上

減損損失 48 百万円。

2. 特別利益の計上

商事時効による債務消滅益 26 百万円。

3. 営業外収益の計上

共同事業施設負担金受取 30 百万円

4. 平成 26 年 3 月期業績予想と実績の差異(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想値 (A)	1,500	△140	△50	520	5 円 16 銭
今回発表予想値 (B)	1,459	△249	△100	447	4 円 45 銭
増減額 (B)－(A)	△46	△109	△50	△73	—
増減率 (%)	△3.0	—	—	△14.0	—
(ご参考) 前期通期実績(平成 25 年 3 月期)	1,795	△344	△226	△200	△ 1 円 9 8 銭

5. 平成26年3月期業績予想と実績の差異の理由

その主な理由として、ニッケル事業では販売量が減少し、教育事業においては生徒数が減少したことで売上高は、予想を下まわりました。営業利益につきましては売上減少とニッケル製品や販売用不動産の簿価の切り下げを売上原価に計上したため売上総利益が減少したことにより予想を下まわりました。営業外収益に有価証券売却益等を計上しましたが、営業損失の影響で予想を下まわりました。

純利益につきましては固定資産売却益等を計上しましたが、特別損失に減損損失等を計上したことや経常損失の影響で予想を下まわる結果となりました。

以 上